

研究課題名	左房内血栓に対する直接経口抗凝固薬（DOAC）の有効性と安全性に関する多施設共同研究
倫理委員会承認番号	243
当院の研究責任者（所属）	寺澤 由佳（脳神経内科）
他の研究機関および各施設の 研究責任者	木村 和美（日本医科大学付属病院 脳神経内科 教授）
本研究の目的	非弁膜症性心房細動（NVAf）かつ心房内血栓（AT）を有する心原性脳塞栓症（CES）の患者において、ワルファリンに比してDOACが血栓の縮小と脳梗塞再発予防に有用であることを明らかにすること。
調査データの該当期間	2017年4月～2021年9月
研究の方法（対象者）	上記期間中に当院に入院した脳梗塞患者のうち、経食道心エコーを受けられた患者さん。
研究の方法（使用する情報）	年齢・性別・画像所見・治療内容・退院後転帰など
試料／情報の他機関への提供	個人情報を削除した調査項目を、エクセルファイルで提供。
個人情報の取り扱い	データの解析および研究成果の発表・公表においては、個人を特定できる形としない。
本研究の資金源（利益相反）	なし
備考	